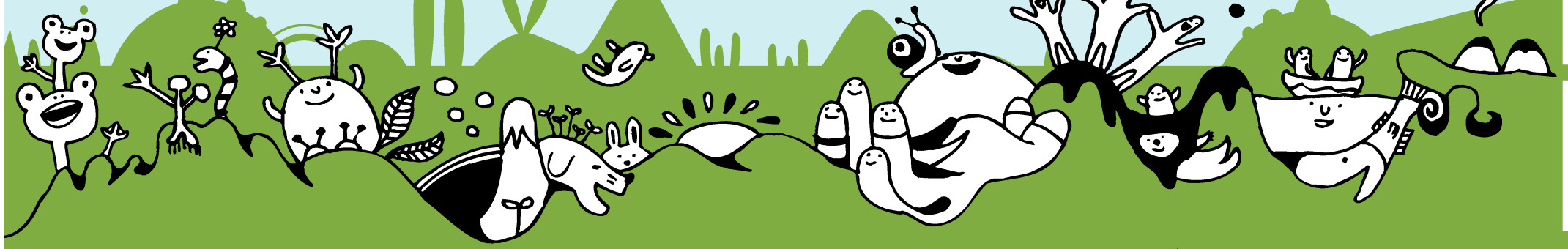
自分の責任で 自由に遊ぶ

みんなでつくろう! 冒険遊び場

プレーパーク



「冒険遊び場（プレーパーク）」は？

1．だれでも遊べる野外の遊び場
2．遊びを見守る大人がいる
3．地域に根づいた運営





子どもたちの「やりたい」気持ちを大切にし
禁止事項をなるべくなくした遊び場です。
「子どもが毎日思いっきり遊べる場所を
我がまちにつくろう！」と地域の大人が知恵を出し合い、
ボランティアで運営します。
毎日の常設遊び場から時々の出張遊び場まで、
地域や活動者の実情にあわせて
さまざまなカタチがあります。

冒険遊び場　プレーパーク Q&A

Q:「自分の責任で自由に遊ぶ」って、どういうことですか？

A:
大人はよく「ルールを守ろう」「○○禁止」「人に迷惑をかけるな」
と言いますが、「どうしてこのルールを守らなきゃいけないのか？」
「どこまでやったら迷惑なのか？」は、
理屈で教えられるより、経験してみるのが一番。
「このくらいなら大丈夫。」「これ以上はやばいからやめとこう」
といった感覚は、やってみなくちゃ得られません。
やりたいことをやってはじめて、責任は自ら負うものだとわかります。
だから冒険遊び場では、禁止事項をできるだけ少なくしています。

プレーパークは誰でも自由に利用できる場所です。
そのかわり「自分の責任で自由に遊ぶ。ケガと弁当は自分持ち！」です。



Q:「自由に遊ぶ」って、難しそう。危なくない？

A:
プレーパークには常にプレーリーダーや世話人といった大人がいて、
子どもたちの遊びの世界が広がるように、子どもの気持ちに寄り添います。
大きな事故が起きないように気を配り、
子どもの目線になって遊び場の自由を見守ります。

＊有給の「プレーリーダー」を雇用している冒険遊び場も、全国にあります。

Q:子どもだけで遊びに行けますか？

A:
立地条件にもよりますが、小学生以上のお子さんなら可能でしょう。
ただし、託児ではありません。
大人も気軽に参加して、ゆったりくつろいだり、おしゃべりしていきましょう。
こうして、子どものしなやかな成長を見守る輪を、地域に広げていきます。







おまち～と泣いたその時から、
子どもはみんな好奇心のかたまり。
「あれなあに？」「わあ、おもしろそう！」
思うと、もう体が動いています。
汚くても危なくても お構いなし。
時にはケンカ、時には失敗。
そんなワクワクドキドキな毎日の体験、
自らが主体となって遊ぶことの積み重ねが、
子どもの生きる力をはぐくんでいきます。
子どもの頃、
どんなふうに遊んでいましたか？

毎日こんなふうに
あそんだり
ケガしたりしながら
子どもはいきいきと
育っていきます。

遊びあふれるまちへ

自然豊かな北海道各地には、外遊びを通して子どもの育ちを支援するさまざまな活動があります。

その中で今注目したいのが「冒険遊び場（プレーパーク）」。
ヨーロッパで始まった冒険遊び場をお手本に、
35年ほど前に東京の世田谷で始まった冒険遊び場づくりの活動は今、
日本全国に広まっています。

北海道は始まったばかり。あなたも自分のまちに
プレーパークをつくってみませんか？

活動紹介（①団体名、②活動場所、③連絡先、④活動日時）

石狩市地域プレーリーダー活動



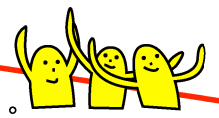
みんなで一緒に遊ぼう！

元気な大学生サークル「THE セツルメント」が中心となって
活動しています。何をして遊ぶかは、その日の子どもたちの
気分次第。毎回、公園の端から端まで容赦なく
走らされます（笑）が、一緒に遊んでいると、
自然にこちらの心も和んできます。
石狩市プレーリーダーと協力して、年に数回のイベントや
どこでもプレーパーク（不定期）も開催します。



①ＴＨＥセツルメント・石狩市プレーリーダー
②彩林公園（←花川南児童館横）（石狩市花川南８条３丁目１５３-１）など
③石狩市保健福祉部こども室子育て支援課　電話 0133-72-3631
④毎週土曜日　午後２時から（夏・冬・春休み、雨天時は除く）

旭山公園キッズ

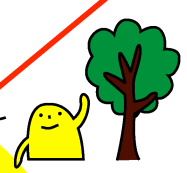


発見！探検！冒険！旭山の森で遊ぼう！

円山と藻岩山の原生林に囲まれる「旭山記念公園」。
2002年公園の再整備計画市民ワークショップで、
子どもたちの笑い声が響く公園にしたいと母親有志が立ち上がりました。
季節の風の香りを感じながら野鳥を観察したり、薪割をしたり…
子どもと大人が自然の中でともに学び遊ぶ「場」を、
私たちと一緒に作ってみませんか？

①旭山公園キッズ
②旭山記念公園（札幌市中央区界川4丁目）
③長村 FAX 011-531-7330，
　メール osamura-ke@jcom.home.ne.jp
　旭山記念公園「森の家」BLOG
　http://asahiyamamoritohitonokai.naturum.ne.jp/
④不定期開催

札幌プレーパークの会　あそぶべぇ



したっけあそぶべぇ〜

子どもたちとの遊び、危険、ルールや公平性など、考えることを意識して活動しています。
難しいことですが、楽しくできていると思います。
子どもたちもスタッフも幅広い年代が参加しています。
今は月一回の開催なので、普段できない遊びを子どもたちと
考えていきたいです。宝探しや水遊びなど、考えるだけでもワクワク。
お気軽にご参加下さい。

①札幌プレーパークの会　あそぶべぇ
②エドウィン・ダン記念公園（←旧真駒内中央公園）
（札幌市南区真駒内泉町1丁目　地下鉄真駒内駅から徒歩10分）
③中島　TEL 090-2057-4180
④毎月第二日曜日　13時から16時
＊荒天時はエドウィン・ダン記念館にて活動します。



ふかがわプレーパーク

毎年9月に２日間の開催！

平成14年、プレーパーク設置にむけた資金が市に寄付され、
動き出しました。平成16年から開催し昨年で7回目、
毎年300名ほどの参加があります。
運営委員会メンバーは、小児科医、会社役員、拓殖短大助教、
公務員、農家、会社員、学生、JC、ロータリークラブなど多種多様です。
いつか常設になることを希望していますが、
気負いなく自分達のできる範囲内で続けていこうと思っています。



①深川プレーパーク運営委員会
②深川市グリーンパーク21（深川市緑町17番）
③寺岡義人（運営委員会副委員長）
　メール teraoka@mx6.et.tiki.ne.jp
④年1回、9月中旬頃、2日間実施



あそびばネット北海道

2010年、冒険遊び場など
北海道の子どもの遊び場づくりに、
関心がある人が集まり情報交換を行う
場の提供を目的として設立された市民団体です。
「自分のうちの近くにおもしろい遊び場がほしい」と
思ったあなた、どうやったら実現できるか、
わたしたちと一緒に考えながらやってみませんか。

お問い合せ：岡村 Tel/Fax 011-699-6870
メール hokkaidouasobiba@gmail.com
http://asobibanethokkaido.jimdo.com/

ＮＰＯ法人　日本冒険遊び場づくり協会
〜遊びあふれるまちへ〜

2003年、冒険遊び場づくりに取り組む市民団体や
行政などへの情報提供や発信、相談、調査研究、
人材育成、ネットワークづくりなどの各種支援を
行うことを目的として設立されたＮＰＯ法人です。
定期不定期活動を含め、現在全国で約270団体が
遊び場づくりに取り組んでいます。

詳しくは協会ＨＰをご覧ください。
http://ipa-japan.org/asobiba/

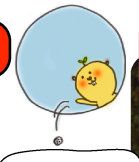
とことん遊ぼう！北海道冒険遊び場応援マップ

発行：特定非営利活動法人 日本冒険遊び場づくり協会　2011年3月15日
〒154-0003　東京都世田谷区野沢3-14-22　　TEL./FAX. 03-5430-1060　メール asobiba@ipa-japan.org

作成：あそびばネット北海道　マップ作成チーム
デザイン印刷：NFP&Designs
写真イラスト協力：ふかがわプレーパーク、あそぶべぇ、旭山公園キッズ、農試公園であそぶか〜い（北海道）
くじら山プレイパーク、いけとおがわプレーパーク（東京）、藤井一歩、野下晃子、瀧本広子

助成：独立行政法人福祉医療機構　社会福祉振興助成事業

プレーパークをやってみよう！



step１　仲間をさがそう

お母さん仲間や地域の人、子どもの遊びに
関心のある人たちに声をかけます。

公園に行っても遊び相手がいないの

step２　話し合う

のびのびと遊べるといいな〜

「どこで、いつ？
子どもたちはどんなふうに遊びたいのかな？
それを実現するには？」
何回も話し合って、計画をねります。

ポスター作りならまかせて！

Step３　準備

道具を貸してくれるところあるかな？

使用場所の許可をもらい、必要な遊び用具や
材料を準備します。
当日協力してくれるボランティアさんを
集めます。

資金はどうする？

Step４　広報・地域へのあいさつ

ポスター、チラシ、
口コミで子どもと大人にお知らせ。
使用する公園の近隣住民や小学校、
まちセンなどへあいさつ。

札幌市西区福井中央公園で
やってみました！
さっぽろ冒険遊びの会　2010.8.28



「明日もあるの？」
楽しそうに遊ぶ子どもたちの声を聞き、
「またやってみたいね」と思いました。
「子どもと外遊び」のことを考え、
発信する機会をもっとつくりたいな。
（メール sapporobouken@gmail.com）

→ さあ、プレーパーク!!



学生と一緒にボランティア参加しました。

見ているほうがハラハラするノコギリづかい、慣れない木登り、豪快なダンボール滑り、とにかく塗りたくるお絵かき…「だめ」「やめて」「なんでそんなことするの」と言いたくなるのをぐっとこらえて様子を見る。温かい目で見守る大人のもとで、のびのびと自分の力を試すように遊び、自信をつけていく子どもたちの姿がまぶしく感じました。旭川も含め全国で、子どもも大人も共に育つ、このような場所が、身近な地域にもっと増えることを願っています。（旭川大学短期大学部幼児教育学科助教　清水冬樹）

外遊び応援団！



子どもも母も、ウキウキな空間

うちのすぐ隣の一日中遊べそうなステキな公園は、学校から“子どもだけで行ってはいけない”と言われています。
それなら大人も一緒にと、近所の友達に声をかけ、毎週金曜の放課後に遊んでいます。
魚釣りに雪遊び、そこらへんを駆け回る子どもたちの脇で母は井戸端談義、お母さんの居場所にもなっています。
（農試公園であそぶか〜い　おが・さ〜ら）

ほんとうの自分をだしてみろ！

公園ねっとわーくでは、春から秋にかけ札幌近隣の公園で「忍者遊び」を行っています。大人と子どもが、
公園でしか出来ない様々な忍者修行を楽しみ遊ぶ企画です。
修行の最後は大人対子どもの「ちゃんばらごっこ」。両者とも真剣そのもの！この「大人も子どもも同じ目線で
真剣に遊ぶ」というのが大事なことかもしれません。大人が子どもを遊ばせてやろう、などと考えてはダメです。
まず、大人も子どもになる、そう「ガキ大将の親分」です。真剣勝負の遊びの経験から子どもたちがいろいろなことを
学んでいく、そんな場を支える大人が増えるといいなあ、と思っています。
（NPO法人公園ねっとわーく代表　中村佳子　http://www2.odn.ne.jp/kouen-network/ ）

何かじっくり挑戦したい時間

春・夏・秋は自然観察、田んぼでカエルや森でクワガタを探したりターザンごっこや丸太切り、
秘密基地づくりにワクワク！　冬はスノーシューを履いて野生動物の足跡探し。樹木の冬芽や野鳥観察の後は
森の斜面を尻すべりして雪だらけにキャッキャ！　国営滝野すずらん丘陵公園は「滝野の森」ゾーンの大自然を活用したイベントなどで、一年中みんなの外遊びを応援しています。
（ＳＰＡＣ滝野管理センター　山下和史　http://www.takinopark.com/）

みんなの手で公園をもっと楽しく！

花が沢山咲く公園、広い芝生の公園、自然豊かな公園、水遊びができる公園、建物の中でも遊べる公園、
芸術の公園・・・札幌には、様々な特色の公園があり、それぞれに魅力があふれています。
地域の大人が、様々な活動をする公園も多く、公園をもっと楽しい遊び場にする為に、活動している人たちもいます。
公園は、みなさんの力でどんどん魅力的な場所に変わります。私たちは、子どもたちがのびのびと遊べる環境を
作る活動を、応援しています。
（財団法人札幌市公園緑化協会　金由貴子　http://www.sapporo-park.or.jp/）

札幌市では・・・

子どもの創造性をはぐくむプレーパーク（冒険遊び場）づくりなどに取り組む地域のみなさんと協力しながら、
子どもが主体的に学び、体験する機会を増やしていきたいと考えています。
（※「さっぽろ子ども未来プラン（後期計画）」参照）★詳しくは子ども未来局のHPをご覧ください。
（札幌市役所子ども未来局子ども育成部子どもの権利推進課 http://www.city.sapporo.jp/kodomo-mirai/）